

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月6日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。



Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

当社グループの報告セグメント

エレクトロニクス事業 (エレクトロニクス事業)

プリント基板（PCB）用部材を始めとする電子部品用化学品部材の開発・製造販売及び仕入販売



医療・医薬品事業 (医薬品事業)

医療用医薬品の製造販売・製造受託



ICT&S事業^{*1}

ICT事業、ファインケミカル事業、エネルギー事業及び食糧事業等



^{*1} 第1四半期連結会計期間より、「その他事業」の名称を「ICT&S事業」に変更しました。
変更はセグメントの名称のみであり、セグメントを構成する子会社に変更はありません。

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

太陽ホールディングス

2

当社グループの報告セグメントです。
エレクトロニクス事業、医療・医薬品事業、ICT&S事業とし、エレクトロニクス事業、医療・医薬品事業は従前と同様ですが、今年からその他事業をICT&S事業という呼称に変更しています。

2024年3月期2Q トピックス

エレクトロニクス事業

- 売上高は、累計YoYで10%減少 QoQで21%増加

累計YoYに関する要因

- ・ PKG：メモリ向け製品を中心に需要が低下し販売数量が減少
- ・ リジッド：車載関連以外は、最終需要の減少により販売数量が減少

QoQに関する要因

- ・ PKG、リジッドともに販売数量増加

為替の影響

- ・ 円安に推移したことにより業績にプラスの影響

当期中平均為替レート：1米ドル141.3円

前年同期期中平均為替レート：1米ドル133.5円

当期第1四半期期中平均為替レート：1米ドル138.1円

医薬事業

- 売上高は、累計YoYで18%増加 QoQで1%減少

累計YoYに関する要因

- ・ 製造受託事業におけるプロダクトミックスの変化や原材料、エネルギー等の価格高騰に伴う販売価格の改定による増加
- ・ アルツハイマー型認知症治療剤「レミニール®」の譲受による増加
- ・ 他社同効薬・鎮咳薬等の供給不足に伴う需要の増加

ICT&S事業

- ファンリードがエクシーズの株式譲受

全社

- 監査等委員会設置会社へ移行^{*1}
- JPX日経インデックス400 構成銘柄に初選定
- 福利厚生施設「T-LINKS」がグッドデザイン賞を受賞

^{*1} 2024年6月に開催予定の第78回定時株主総会での承認を条件とする。
Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

 太陽ホールディングス

3

2024年3月期第2四半期のトピックスです。

エレクトロニクス事業は昨年比で10%減少していますが、第1四半期と比較しますと21%増加し、第2四半期がかなり良くなった印象です。医療・医薬品事業は昨年比で18%増加しています。

続いてICT&S事業は、ファンリードがエクシーズの株式を譲受しました。

全社のトピックスとしては「監査等委員会設置会社へ移行」「JPX日経インデックス400構成銘柄に初選出」「高槻市にある太陽ファルマテックの福利厚生施設『T-LINKS』がグッドデザイン賞を受賞」をあげています。

連結業績								
	①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③	④	②÷④
単位：百万円	2023年3月期 上半期 実績	2024年3月期 上半期 実績	前年 同期比	増減率	2024年3月期 上半期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率	2024年3月期 通期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率
売上高	52,795	51,107	Δ1,687	Δ3%	49,200	104%	101,700	50%
営業利益	10,548	9,089	Δ1,459	Δ14%	6,500	140%	15,100	60%
経常利益	10,203	8,651	Δ1,552	Δ15%	6,400	135%	14,700	59%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,489	6,232	Δ1,257	Δ17%	4,500	139%	10,000	62%
円・USDレート	133.5	141.3	7.8		135.0		135.0	
EBITDA	14,511	13,464	Δ1,046	Δ7%	11,000	122%	24,300	55%
営業利益率	20%	18%			13%		15%	
EBITDA マージン	27%	26%			22%		24%	
Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.								
太陽ホールディングス								4

2024年3月期上半期の連結実績です。
売上高は511億7百万円、前年同期比で16億87百万円の減少です。一方で、上半期の業績予想と比較すると進捗率は104％です。また営業利益は90億89百万円で、上半期業績予想では65億円と比較し140％の進捗率です。経常利益は86億51百万円で、上半期業績予想の64億円と比較し135％の進捗率です。期初の業績予想を開示した際には為替レートを1ドル135.0円としていましたが、2024年3月期上半期実績では1ドル141.3円となり、前年同期比としては7.8円の円安です。

セグメント別業績（セグメント別売上高・営業利益・EBITDA）

		①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③
		2023年3月期 上半期 実績	2024年3月期 上半期 実績	前年同期比	増減率	2024年3月期 上半期 業績予想 (5月1日発表)	進捗率
単位：百万円							
エレクトロニクス事業	売上高	38,684	34,729	△3,954	△10%	32,600	107%
	営業利益	10,361	7,702	△2,659	△26%	6,600	117%
	営業利益率	27%	22%			20%	
	EBITDA	11,566	9,011 ^{*2}	△2,555	△22%	7,800	116%
	EBITDAマージン	30%	26%			24%	
医療事業	売上高	12,388	14,609	2,220	18%	14,700	99%
	営業利益	1,023	1,701	678	66%	900	189%
	営業利益率	8%	12%			6%	
	EBITDA	3,291	4,343	1,051	32%	3,700	117%
	EBITDAマージン	27%	30%			25%	
ICT&S事業	売上高	1,721	1,768	46	3%	-	-
	営業利益	30	74	44	148%	-	-
	営業利益率	2%	4%			-	-
全社費用	営業損益	△866	△389 ^{*1}	477		-	-

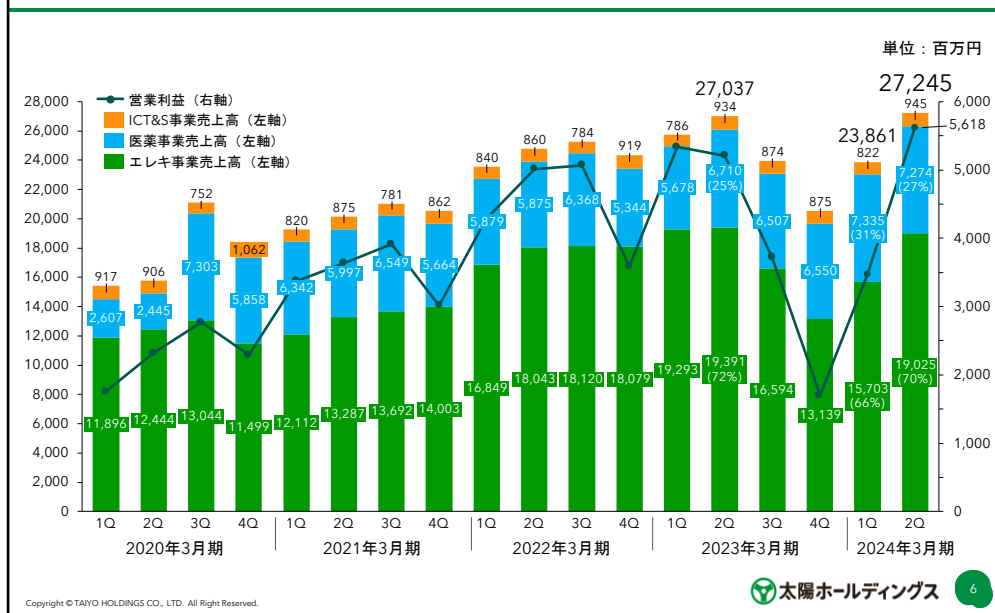
^{*1} 第1四半期においてのれんの計上金額を変更したことにより、過年度ののれん償却額を修正しました。
^{*2} 第1四半期エレクトロニクス事業のEBITDA及びEBITDAマージンについて、エレクトロニクス事業に配分すべき償却費が全社費用に計上されていたため次のように修正いたしました。EBITDA：3,284百万円 EBITDAマージン：21%

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

 太陽ホールディングス

上半期のセグメント別業績です。
エレクトロニクス事業は、売上高は347億29百万円で前年同期比39億54百万円の減少です。しかしながら、第1四半期と比較すると第2四半期は状況がかなり良くなってきている印象です。
医療・医薬品事業は売上高146億9百万円で前年同期比18%の増加、営業利益は17億1百万円で前年同期比6億78百万円の増加です。

四半期別推移（売上高・営業利益）



四半期別の売上高・営業利益の推移です。

2024年3月期第2四半期の売上高は272億45百万円で、四半期別の売上高として過去最高となりました。この要因は、医療・医薬品事業が前年第2四半期と比べ、売上高を5億円程度伸ばしたことが大きく寄与しています。

BSの概況

BS前期比較

単位：百万円

	23/3末	23/9末	増減		23/3末	23/9末	増減
現金及び預金	47,121	45,386	△1,734	支払手形及び買掛金	6,513	9,796	3,282
受取手形及び売掛金	22,734	29,580	6,845	短期借入金 ^{*2}	18,327	41,339	23,012
棚卸資産 ^{*1}	14,976	15,812	835	長期借入金	53,174	32,908	△20,265
上記以外	5,217	2,311	△2,906	上記以外	16,508	14,267	△2,241
流動資産合計	90,050	93,091	3,040	負債合計	94,523	98,311	3,788
有形固定資産	60,401	64,189	3,788	株主資本	86,098	89,823	3,724
無形固定資産	29,170	31,950	2,779	その他の包括利益 累計額	6,637	9,727	3,089
投資その他の資産	7,640	8,635	995	非支配株主持分	3	5	1
固定資産合計	97,212	104,775	7,563	純資産合計	92,739	99,555	6,816
資産合計	187,263	197,867	10,604	負債純資産合計	187,263	197,867	10,604

*1 棚卸資産：商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品
*2 短期借入金：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

自己資本比率 49.5% 50.3% 0.8%

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

太陽ホールディングス

7

バランスシートです。
特筆すべきことはありませんが、受取手形及び売掛金が少し増えており、これは（中国地域における国慶節の影響などの）季節性のものです。また、長期借入金の減少と短期借入金の増加は、長期借入金から短期借入金への振替が生じているためです。

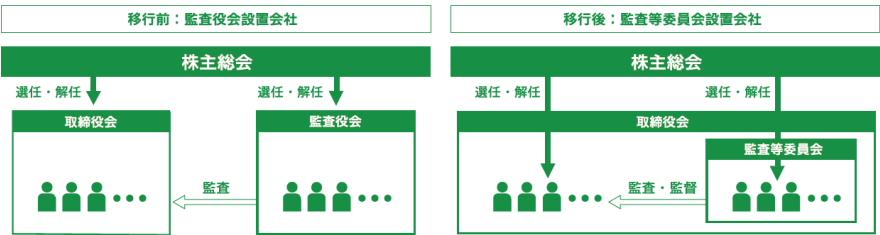
2024年3月期 通期業績予想修正						
✓ 下半期業績予想は2023年5月1日に開示した業績予想を据え置き、2023年4月から2023年9月までを実績値に更新し連結業績予想を修正しました。						
単位：百万円	2024年3月期 通期業績予想 5月1日発表 ^{*1}		2024年3月期 通期業績予想 11月6日発表 ^{*2}		増減比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
連結	売上高	101,700	103,600		+1,900	+2%
	営業利益	15,100	17,600	15%	+2,500	+17%
	経常利益	14,700	16,900	14%	+2,200	+15%
	親会社株主に帰属する当期純利益	10,000	11,700	10%	+1,700	+17%
	EBITDA	24,300	26,600	24%	+2,300	+9%
エレクトロニクス事業	売上高	68,700	70,800		+2,100	+3%
	営業利益	15,200	16,300	22%	+1,100	+7%
	EBITDA	17,700	18,900	26%	+1,200	+7%
医療事業	売上高	29,200	29,100		△100	△0%
	営業利益	2,000	2,800	7%	+800	+40%
	EBITDA	7,600	8,200	26%	+600	+8%
^{*1} 円・USDレート：2024年3月期通期業績予想 135.0円 ^{*2} 円・USDレート：2024年3月期上半期実績141.3円 2024年3月期下半期業績予想135.0円 Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.						
太陽ホールディングス						8

2024年3月期通期の業績予想は修正しています。売上高1,036億円、営業利益176億円としており、これは上半期実績の売上高・営業利益に当初より開示している下半期の業績予想の売上高・営業利益を足し合わせたものです。そのため、下半期の業績予想に限ると修正はありません。

業績予想の内訳としては、エレクトロニクス事業は売上高708億円、営業利益163億円、医療・医薬品事業は売上高291億円、営業利益28億円です。医療・医薬品事業はEBITDAが82億円であり、かなり伸ばしてきていると考えています。

監査等委員会設置会社へ移行

✓ 太陽ホールディングスは、2024年6月に開催予定の第78回定時株主総会での承認を条件とし、監査等委員会設置会社に移行する方針を決議しました。



監査機能と業務執行機能の分離を明確化し取締役会のモニタリング機能を強化することで、迅速な経営の意思決定を実現し、更なる企業価値の向上を目指します。

来年の6月の株主総会で監査等委員会設置会社へ移行する予定です。昨今の市場の要請もありますが、監査機能と業務執行機能の分離を明確化し、取締役会のモニタリング機能の強化を目的とするものです。

JPX日経インデックス400 構成銘柄に初選定

✓ 太陽ホールディングスは、株式会社JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経インデックス400」*1の構成銘柄に初めて選定されました。

JPX-Nikkei 400の選定基準

定量指標	時価総額
	直近3年間の株式売買金額
	3年平均ROE
	3年累積営業利益 等
定性指標	女性役員の選任
	決算情報の英文資料開示 等

 **JPX-NIKKEI 400**
2023

*1 JPX 日経インデックス400 は、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数です。

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

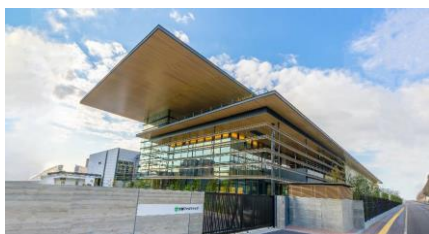
 太陽ホールディングス

10

JPX日経インデックス400の構成銘柄に初選定されました。

福利厚生施設「T-LINKS」がグッドデザイン賞を受賞

- ✓ 太陽ファルマテックの福利厚生施設「T-LINKS（ティーリンクス）」が公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2023年度グッドデザイン賞*1」を太陽ホールディングスグループとして初めて受賞しました。



【審査委員評価コメント】

従業員への健康投資を行うことで組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上につながると期待される健康経営を謳う企業は多くあるが、社員食堂やジムにとどまらずアリーナを完備するほどに力を入れる企業はさほど多くはない。更にこの施設を有事の際に地域に開放し帰宅困難者を受け入れる決断は、この企業がいかに地域と従業員を含む関係者の支えを重要としているかを表している。門扉の前まで大きく張り出した大屋根は、すべてのステークホルダーを迎え入れる象徴であり、地域とともに生きる企業の決意が美しくデザインされていると評価する。

グッドデザイン賞公式サイト紹介ページ

<https://www.g-mark.org/gallery/winners/15812?text=T-LINKS>

*1グッドデザイン賞はデザインによって人々の暮らしや社会を豊かにすることを目的に、1957年に創設された日本を代表するデザイン賞です。

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

太陽ホールディングス

11

太陽ファルマテックの福利厚生施設のT-LINKSがグッドデザイン賞を受賞しました。

スタイリッシュであることに加え、有事の際に地域に開放し帰宅困難者を受け入れるというコンセプトが評価されました。

現状、地域の方を含めた避難訓練までは行っていないですが、地域の方を迎え入れる事を始めています。

エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業

用語説明

用語	内容
PCB (Printed Circuit Board)	プリント基板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト（レジストインキ）
PKG (Package)	半導体パッケージ
DF (Dry Film)	ドライフィルム
BU (Build-up)	ビルドアップ

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.



13

エレクトロニクス事業の用語の説明です。PCBはプリント基板、SRはソルダーレジスト、PKGは半導体パッケージ、DFはドライフィルム、BUはビルドアップを指しています。

エレクトロニクス事業

製品分野

分野	分類		性状	用途
PCB用 絶縁材料	リジッド	汎用品	液状	表層保護・絶縁用SR材料 マーキング・エッチング・めっき用材料 電子機器用材料 等
		高機能品	液状／DF	
	PKG		液状／DF	
	フレキ		液状／DF	
	BU		液状／DF	層間絶縁・穴埋め用ビルドアップ材料 等
その他 関連商材	その他		液状／DF	導電性銀ペースト 等

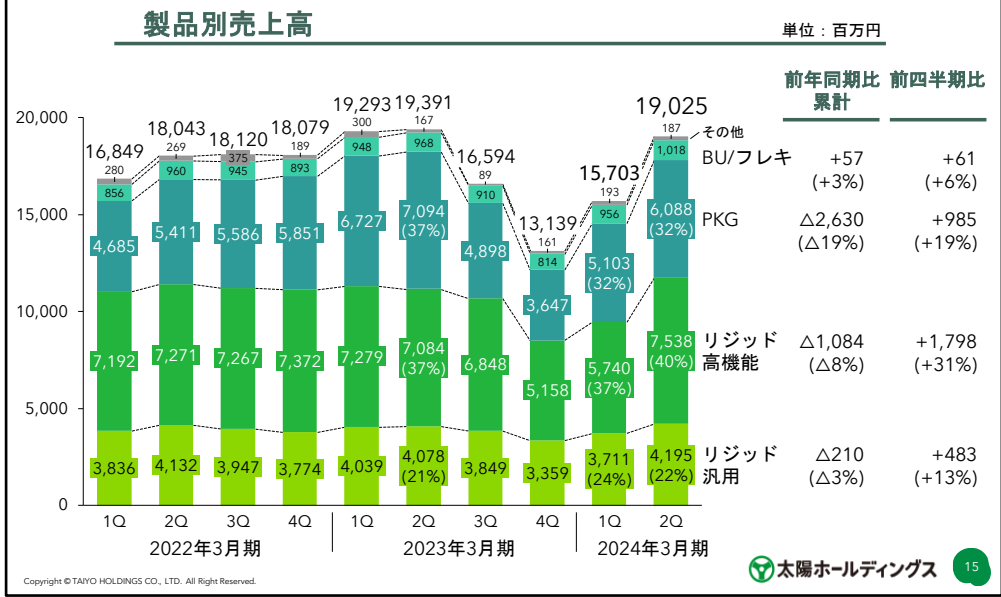
Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

 太陽ホールディングス

14

製品の分類ですが、PCB用絶縁材料のリジッド高機能品に、DFが入りました。PKGについてもDFがメインの製品であり、フレキ、ビルドアップも液状とDFがあります。
このようにDFタイプの製品がメジャーになってきています。

エレクトロニクス事業

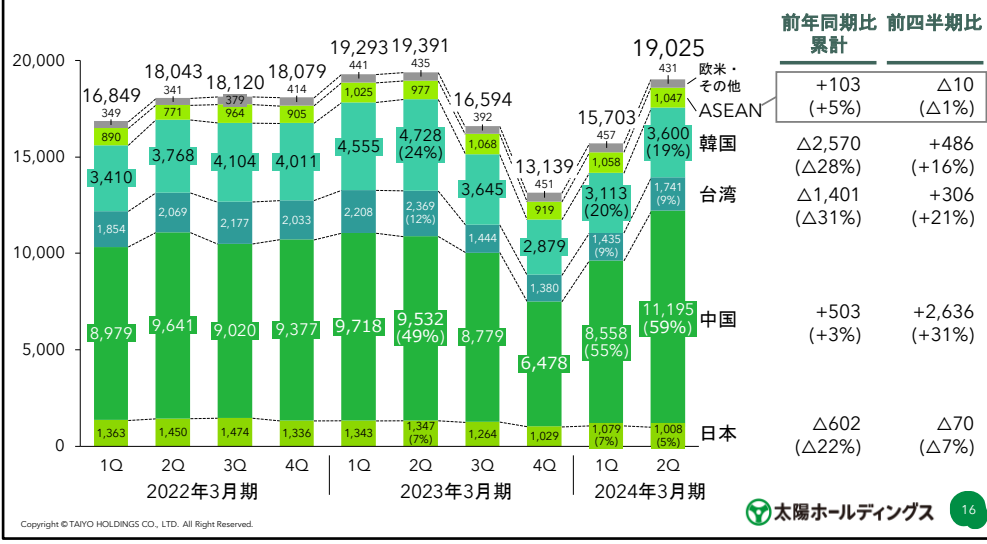


エレクトロニクス事業の売上高は190億円で、PKG、リジッド高機能が伸びている状況です。

エレクトロニクス事業

販売地域別売上高

単位：百万円



地域別でみると、中国がかなり伸びてきている一方で、台湾・韓国が減っている状況です。

医療・医薬品事業

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

17

医療・医薬品事業

用語説明

用語	内容
長期収載品	新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売が可能となっている先発品
CDMO	医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関 (Contract Development Manufacturing Organization)
GMP	医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

 太陽ホールディングス

18

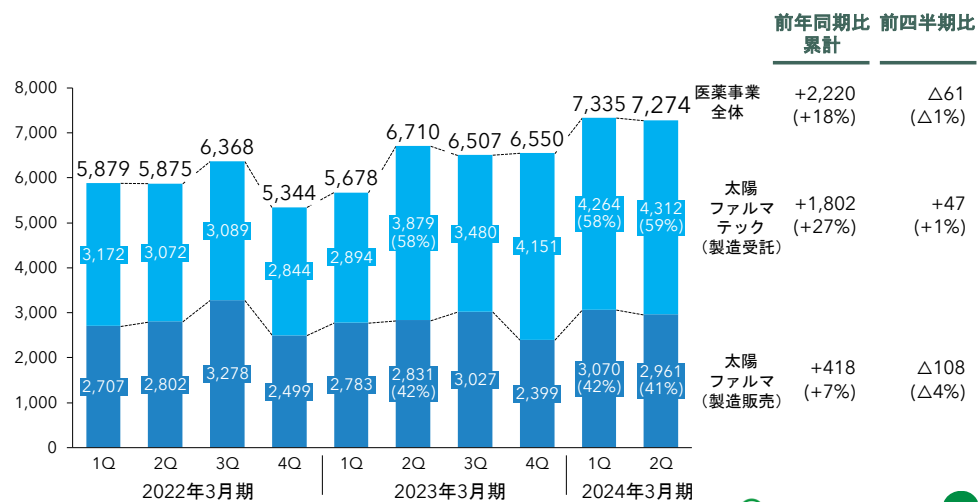
長期収載品は、新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品の販売が可能となっている先発品のことです。当社はジェネリックの取り扱いはありません。

CDMOは、医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関で、GMPは医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準です。

医療・医薬品事業

会社別売上高

単位：百万円



Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

医薬品事業については、総じて伸びている状況です。特に、製造受託をしている太陽ファルマテックの売上が順調に伸びています。

ICT&S事業

ファンリードがエクシーズの株式譲受

- ✓ ファンリードは、株式会社エクシーズの全株式を2023年8月31日に譲受しました。
- ✓ 大手製造会社向けの基幹系システムの開発・運用、VR・ARといったXR技術に強みを持つエクシーズとの協業・連携を通じて、事業を強化してまいります。

株式会社エクシーズの概要

【本社所在地】福岡県福岡市博多区

【設立】1990年4月

【資本金】4,700万円

【代表者】小林 慶一

【従業員】76名（2023年7月末日現在）

【事業内容】

- 1.生産管理・販売管理等の基幹系システムの開発・運用
- 2.VR・ARなどのXR技術を活用したDX推進サービス

<DX推進サービス事例>

- ・ Microsoftが開発したVR・ARヘッドセット、HoloLensの活用提案
- ・ 3Dホログラフィックディスプレイ、LookingGlassの導入支援・アプリケーション開発



Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

 太陽ホールディングス

21

ファンリードがエクシーズの全株式を8月31日に譲受しました。
エクシーズは福岡県の会社でありますので、福岡の地盤を確固たるものにすることが目的の一つです。
また、VR、ARについては、先端の技術を保有しています。



Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

太陽ホールディングス株式会社2024年3月期第2四半期決算説明会の内容は以上です。 ご清聴いただき誠にありがとうございました。

Q&A

	ご質問	回答
エレキ	QoQで売上高の増加が見られるが、要因は何か。	リジッド高機能の車載用基板向け製品とMini LED向け白色DF、PKGのDF製品が増加した事が要因と考えます。
	Mini LED向け白色DFが売上伸長の要因とのことだが、その背景は何か。	ここまで続いていた顧客の在庫調整が落ち着いたためと考えます。前期4Q及び今期1Qはかなり低水準であり、今期2Qで戻ってきました。ただし、第3四半期以降は再び売上が減少すると予想しています。
	地域別では中国の売上高増加が見られるが、要因は何か。また、中国以外の地域はどのような状況か。	リジッド高機能の車載用基板向け及びMini LED向け白色DF、PKGのDF製品の販売数量が中国において増加した事が寄与していると考えます。韓国、台湾では前期比で減少しています。
	エレキ事業の下期の業績予想について、第3、第4四半期はどのように見ているか。	第3四半期は見通しが立たない状況が続いていますが、第2四半期の状況がある程度継続すると想定しています。第4四半期は例年中華圏の旧正月の影響、つまり季節性により売上が減少する傾向にあり、今期も同様であると想定しています。
	来期以降の新製品に向けて進めている事や期待できる物はあるか。	生成AIで採用されるGPU向けPKG用SRは競合の製品が占めている領域であり、当社も参入できるよう開発を続けています。生成AIが普及することにより、GPU向けだけではなく、それ以外の部品に用いられる基板も同時に増加すると予想しており、既存の当社製品の増加も期待しています。また、Mini LED向け白色DF以外のリジッド高機能のDF製品についても引き続き開発を進めています。
	為替感応度についてはどうか。	現状の構成では、売上高で4億円弱、営業利益で2億円弱です。

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

Q&A

	ご質問	回答
医薬	・ 第1四半期に続き、第2四半期も営業利益率が比較的高かった要因は何か。	太陽ファルマテックの製造受託事業はほぼ固定費ビジネスのため、売上高が増加するほど利益率も増加する傾向があり、今期もこちらが大きく寄与しています。また、遺伝子治療薬関係の償却開始時期がずれたことや、想定よりも人件費・光熱費等の販売管理費がかからなかったことも挙げられます。
	・ 比較的高い利益率の持続性はあるか。	続くと考えています。今後は特に太陽ファルマテックが業績をけん引していく想定であり、伸びしろもまだあると考えています。
	・ QoQでの利益率の向上要因は何か。	プロダクトミックスの変化によるもので、第2四半期では利益率の良い製造受託が多かったためです。
	・ 連結キャッシュ・フロー計算書の「無形固定資産の取得による支出」の65億円は今年度承継した長期収載品の影響か。また、医薬事業におけるEBTDAから営業利益を差し引いた差分の償却費の増加もその長期収載品の影響か。	65億円全てではないものの、今年度承継した長期収載品の影響は含まれています。償却費の増加は同様の長期収載品と新設した遺伝子設備等の影響が大きいです。
	・ 太陽ファルマが今年度承継した長期収載品の利益貢献はどの程度か。	現状では当該製品の売上と販売権の償却が打ち消し合う状況でまだ利益貢献は大きくありません。ただし、償却が終われば、かなりの利益貢献になると見込んでいます。

Copyright © TAIYO HOLDINGS CO., LTD. All Right Reserved.

Q&A

	ご質問	回答
医薬	・ 太陽ファルマテックの主な新規受託案件の開始時期に変更は無いか。	太陽ファルマテックの主な新規案件による業績貢献は、計画通り2025年3月期の下半期以降を予定しており、順調に準備が進んでいます。
全体	四半期報告書に記載の販管費及び一般管理費が、今期第1四半期や前期に比べ今期第2四半期は増加しているが要因は何か。	QoQで増加しているのは第1四半期の特殊要因としてのれん調整分によりマイナスの費用が計上され、費用分が小さくなって見えている影響です。YoYで増加しているのは為替の影響に加え、給与アップなどの影響による費用の増加が要因として挙げられます。